

令和6年度 技術・家庭科（技術分野） 第3学年 年間指導計画

三次市立十日市中学校

月	題材名	時数	ねらい	評 価 基 準			学習指導要領
				①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
4	プログラムによる計測・制御	1 2					
5	①計測・制御の仕組みを知ろう ②プログラムの役割について考えよう	(2)	・身の回りにある計測・制御システムを調べる。 ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を調べる。 ・計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れを調べる。	・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。(知) ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。(知)			
6	③制御プログラムを作ろう	(4)	・計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。 ・問題を解決するための計測・制御システムに必要な情報を収集し、解決策を具体化する。 ・センサと仕事を行う部分の選択 ・計測・制御システムの構成の整理 ・情報処理の手順の整理		・問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) ・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。(思)		
9	④計測・制御システムのプログラムを作ろう	(6)	・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。 ・エネルギー変換の技術による問題解決の学習を生かして、自動化・システム化が実現するプログラムを制作する。 ・計測・制御のプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。	・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。(知)	・計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えている。(思)	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。(態)	D (3)アイ
12	デジタル作品の設計・制作	4					
1	①デジタル作品の特徴を考えよう ②デジタル作品を設計・制作しよう		・生活の中で利用されている情報の表現手段や特徴を知る。 ・メディアの特徴を活用し、目的や条件を考えて、デジタル作品を設計する。 ・制作工程表にそって、必要な素材を集めて加工する。 ・目的に合った表現になるように工夫して制作し、発表する。	・制作工程表に基づき、適切なソフトウェアを用いデジタル作品を制作できる。(知) ・メディアの特徴と利用方法、メディアを複合する方法を説明できる。(知)	・生活上の課題を解決するために、メディアの特徴を生かし、デジタル作品の使用条件を踏まえて、制作工程を決定できている。(思)	・利用者が安心して利用できる作品を設計・制作しようとしている。新しい発想を生み出し活用しようとしている。(態)	
2							
3							
	情報に関する技術を未来に活かそう	1 . 5					
			・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。 ・社会からの要求 ・安全性 ・環境への負荷 ・経済性 ・情報の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかをまとめる。 ・持続可能な社会の構築のために、これからの情報の技術について考える。	・情報の技術の概念について理解している。(知)	・情報の技術の最適化について考えている。(思) ・これからの情報の技術について考えている。(思)	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(態) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(態)	D(4)アイ

計 17.5 時間